



12月の学校行事(5)

12/23
(月)

令和元年度第2学期終業式

12月23日(月)に、体育館において第2学期終業式が行われました。

終業式の式辞で三木校長が話された話の一部を紹介します。

(1) 式辞の冒頭で、2学期の始業式で話された内容に触れ・・・

2学期のはじめに『凡事徹底』の話をしました。覚えていますか? 凡事徹底とは、『誰にでもできる当たり前のことを徹底して誰よりも続けること』簡単なようで実に難しいことです。学期末は、授業がなく大掃除を含む各行事がありました。真剣に取り組みましたか? 『学校生活に無駄なものはいっさいありません。』授業と同じくらい大切なものです。授業は頭を鍛え、行事は心と体を鍛えます。合わせて人間が磨かれます。

(2) 今現在、好調な人、調子が今ひとつの人へのメッセージ

今日現在、好調な人は大いによいです。そのまま今をよく生きてください。今日現在、調子が今ひとつの人は、好不調の波は誰にでもあります。原因があるなら対策をとってください。もしないのなら、チャンスを待ってください。こちらの人も同じです。今をよく生きてください。

船橋市出身の作家で森沢明夫さんの作品には、人生に元気や勇気を与えてくれる小説と言葉が多数ありますので、紹介します。

「人生に大切なのはね、自分に何が起きたかじゃなくて、起こったことにたいして自分が何をするか、なのよ。起こったことなんて、そのまま受け入れればいいの、どうせ過去は変えようがないんだから。でもね考え方ひとつで起こったことをチャンスに変えることはできるの。ピンチはチャンスよ。」(「大事なことほど小声でささやく」登場人物の言葉)

「才能ってのはね、成功するまで絶対に努力を止めないって、自分自身を説得し続ける能力のことを言うのよ。」(癒し屋キリコの約束)より)

北高生、君たちは若い。つらいこともあるだろうけれど楽しいこともいっぱいあります。

(3) 各学年へのメッセージ (省略)

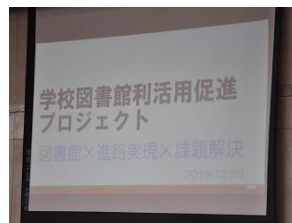


12/23 (月) 学校図書館利活用プロジェクト ドリカム☆プロジェクト発表

学校図書館の利活用促進事業の一環として3年A組が総合的な学習の時間に行った「ドリカム☆プロジェクト for SDGs ～国連千葉北代表部・10の提言～」において、生徒たちが10のグループに分かれ調査結果の発表を行った成果を生徒昇降口に掲示しました。

職員・生徒による投票の結果、2班の「飢餓～9人に1人が苦しむ実態～」が一番優れているグループとして選ばれ、

2学期終業式後に全校生徒の前で発表しました。



ドリカムプロジェクトのねらいについて話す担任



調査内容について説明する生徒たち



調査動機について説明する生徒